

1. 科目名（単位数）	日本語学史 (2 単位)	3. 科目番号	EJJP2142						
2. 授業担当教員	山口 雅代								
4. 授業形態	講義	5. 開講学期	秋期						
6. 履修条件・他科目との関係									
7. 講義概要	日本の歴史に沿って、日本語がどのように研究されてきたのか、主に明治以前と以降に分けて学ぶ。また、日本語学史の発展は日本語教育と密接な関係にある（西洋人の日本語学習から貴重な文献が残されている（ロドリゲス著（1604-08『日本大文典』）など）ことから、日本語教育史についても取り上げる。								
8. 学習目標	1) 日本語学史の時代区分が概観できる。 2) 日本語学史の時代区分に沿ってどのような研究が行われたか、理解できる。 3) 日本語学史において西洋の影響について概観できる。 4) 日本語教育史の時代区分がわかる。 5) 日本語学史と日本語教育史はどのような関係にあるのか、理解できる。								
9. アサイメント（宿題）及びレポート課題	毎回、授業で習った項目のワークシートを配布するので、次の授業時に提出する。 課題レポート： ・日本語学史の時代区分と、それぞれの時代の特徴を書きなさい。 ・日本語教育史の時代区分とその特徴について書きなさい。								
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 使用せず、適宜プリントを配布する。 【参考書】 真田信治著『よくわかる日本語史』アルク、1999。 佐伯哲夫・山内洋一郎編『国語概説』和泉書院、1983。 酒井順一郎「第1章 0からの日本語学習・教育」『やさしい日本語指導3 日本語教育の歴史と現状』国際日本語研修協会、2009。 高見澤孟他『新・はじめての日本語教育1』アスク出版 2016。								
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準 1. 時代に沿って日本語学史の特徴が理解できたか。 2. 日本語学史と日本語教育史の影響が理解できたか。</p> <p>○評定の方法 [授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。</p> <table> <tr> <td>1 授業への出席・参加態度</td> <td>総合点の 30 %</td> </tr> <tr> <td>2 期末試験（レポート）</td> <td>総合点の 30 %</td> </tr> <tr> <td>3 提出課題（ワークシート・発表）</td> <td>総合点の 40 %</td> </tr> </table> <p>なお、本学規定により、3/4 以上の出席が確認できない場合は単位修得を認めない。</p>			1 授業への出席・参加態度	総合点の 30 %	2 期末試験（レポート）	総合点の 30 %	3 提出課題（ワークシート・発表）	総合点の 40 %
1 授業への出席・参加態度	総合点の 30 %								
2 期末試験（レポート）	総合点の 30 %								
3 提出課題（ワークシート・発表）	総合点の 40 %								
12. 受講生へのメッセージ	授業には誠実に参加し、お互いの力量と自らの目標を達成するために積極的に研究・討論に取り組むこと。 ・授業中の私語は厳禁とする。 ・質問・意見等は授業中に解決するよう努力すること。 ・授業中の携帯電話・メールや私語、飲食は絶対に慎むこと。								
13. オフィスアワー	初回授業時に告知する。								
14. 授業展開及び授業内容									
講義日程	授業内容	学習課題							
第1回	授業概要、日本史、日本語史、日本語学史、日本語教育史について	事前学習	日本史、日本語史、日本語学史、日本語教育史の違いについて確認しておく。						
		事後学習	ワークシートを完成させる。						
第2回	日本史と日本語史、日本語学史の時代区分について	事前学習	日本史の時代区分に沿って何があったか確認する。						
		事後学習	ワークシートを完成させる。						
第3回	仮名の発生・定家仮名遣い・歴史的仮名遣い	事前学習	配布プリント（発展の段階について）を読み、内容を理解しておく。						
		事後学習	ワークシートを完成させる。						
第4回	近世・学問の大衆化・国学	事前学習	配布プリント（近世・学問の大衆化・国学について）を読み、内容を理解しておく。						
		事後学習	ワークシートを完成させる。						
第5回	契沖の生きた時代の芸術家と研究	事前学習	配布プリント（契沖について）を読み、内容を理解しておく。						
		事後学習	ワークシートを完成させる。						
第6回	日本語学史への西洋の影響について	事前学習	配布プリント（西洋文典について）を読み、内容を理解しておく。						
		事後学習	ワークシートを完成させる。						
第7回	明治以後の研究の概要	事前学習	配布プリント（明治以後の研究の概要について）を読み、内容を理解しておく。						
		事後学習	ワークシートを完成させる。						
第8回	日本語学史と日本語教育史の関連性	事前学習	日本語学の研究者と研究の概要と、日本語教育にどのような関連があるのか、理解しておく。						
		事後学習	ワークシートを完成させる。						

第9回	日本語学史の時代区分とその特徴についてのまとめと復習チェック	事前学習	これまでの配布プリントとワークシートを見直す。
		事後学習	間違ったところを見直す。
第10回	日本語教育史：日本語教育史の時代区分	事前学習	日本語教育史はどのように分けられているのか、理解する。
		事後学習	ワークシートを完成させる。
第11回	19世紀以前の日本語教育史と漂流民	事前学習	日本語教育史の区分に従い、世界で日本語教育において何が行われていたのか、理解する。
		事後学習	ワークシートを完成させる。
第12回	漂流民と日本語教育	事前学習	配布プリント（漂流民について）を読み、なぜロシアに日本人が漂流したのか、どのようにして日本語教師になったのか、理解する。
		事後学習	ワークシートを完成させる。
第13回	戦前の日本語教育史概要	事前学習	配布プリント（戦前の教育史の概要）を読み、内容を理解しておく。
		事後学習	ワークシートを完成させる。
第14回	戦前・戦後の日本語教育史	事前学習	戦前と戦後の日本語教育はどのような違いがあるのか、理解しておく。
		事後学習	間違ったところを見直す。
第15回	日本語教育史の時代区分とその特徴についてのまとめ、日本語史・日本語教育史フィードバック	事前学習	配布プリントやワークシートを見直す。
		事後学習	提出したレポートについての評価を行う。